

「ドクター・コッペリウス」公演に協賛しました

日本カーバイド工業株式会社は、去る 11 月 11 日・12 日 東京 Bunkamura オーチャードホールにて公演されました「ドクター・コッペリウス」に協賛致しました。

多数のご来場ご参観誠に有難うございました。心より感謝申し上げます。

日本カーバイド工業株式会社は主催者であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社の空中映像装置「ビーマーベイビイ」の装置設計とその部材の選定及び重要部材であるリフレクターの供給を行いました。

空中に映し出された初音ミクとその隣で踊るダンサーとの共演を楽しんでいただけたかと思えます。

今回、「ドクター・コッペリウス」をホールでご参観いただいたほとんどの方には、スクリーンのない空中に像を見たのは初の体験であったと思われまます。

残念ながら写真や動画映像などの単眼で撮ったものでは、初音ミクの踊っている前後位置がつかめません。

ホールで実際に両目でご覧いただければ、初音ミクはダンサーの隣で踊っていることがわかります。

(見る対象が近い程、両目の視線は手前で交差、つまり寄り目になり、遠くを見る時は両目の視線がより平行になることにより遠近感を検知することによります。)

「ビーマーベイビイ」の空中に初音ミクを映す原理は、水や透明なスクリーンを用いているわけではなく、またペッパーズ・ゴーストと呼ばれるハーフミラーの向こうの空中に、元画像の正反射像を映す方式でもなく、リフレクターを用いて、ハーフミラーの手前の空中に光を集め映像として映す、よりリアリティが感じられる方式です。

これまで充分な明るさや解像度が得られなかったため舞台装置などでは紹介されていなかったと思われ、この技術を用いたものでは「ビーマーベイビイ」は世界最大、「ドクター・コッペリウス」は世界初の公演、であったかと思っています。

日本カーバイド工業株式会社では道路標識用の再帰反射シート「Nikkalite」で培った精密金型加工・転写加工技術を用い、明るく、鮮明な映像が得られるリフレクターの開発に成功致しました。

現在、空中に浮かんだ映像を利用して、複数の人が一緒に遊べる投影装置「ミラージュ・ビーマー」の制作に取り掛かっており、本年 12 月 5 日～8 日 マカオ・ベネチアンホテルで開催される、SIGGRAPH ASIA 2016 に出展予定です。詳しくはこちら → <https://sa2016.siggraph.org/en/>

「ドクター・コッペリウス」は早くも再演が決まりました。詳しくはこちら → <http://www.dr-coppelius.com/>
ぜひともその目でリアリティを感じて下さい。

*「ビーマーベイビイ」はクリプトン・フューチャー・メディア株式会社の商標です。



M-Beamer

M-Beamer is a brand-new interface to handle aerial images.

Features

M-Beamer forms scalable, wide-view, mass-productive, cost-effective, clean, and aerial images with direct gesture operations.

- **SCALABILITY**

We provide any size, from a button size to an elephant size.

- **WIDE VIEWING ANGLE**

Our state-of-art Nikkalite™ RF-A enables many audiences to enjoy vivid aerial images at the same time.

- **MASS PRODUCTION**

Because retro-reflectors are pervasive in our life, our retro-reflective sheet is ready for mass production.

- **COST**

Mass production gives a cost-effective solution compared to special optics.

- **CLEANNES**

Because the screen is aerial and has no physical hardware, you can handle information even with wet hands and without leaving your fingerprints.

Applications

- **Digital signage**

traffic signs, aerial advertisements, etc.

- **Car**

aerial console panels.

- **Input devices**

clean and secure ATM screens, clean aerial buttons, aerial tablet screen, etc.

- **Factory automations**

instruction panels in factories.

- **Amusements**

VR and AR games and attractions.

Aerial display has been technically supported by Yamamoto Lab. at Utsunomiya Univ.

